



子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきて、学校が一気に活気づきました。新型コロナウイルス感染症だけでなく、今年の夏休みも猛暑が続き熱中症等も心配でしたが、真っ黒に日焼けした子どもたちの顔を見ると、元気に夏休みを過ごしたことがうかがえます。また、夏休みだからこそできる体験を通して、子どもたちはひと回り成長したように感じます。何より、大きな事件や事故に巻き込まれることなく、前期後半のスタートを迎えられたことをうれしく思います。長い夏休みの間、子どもたちを見守り支えていただいた保護者・地域の皆様に感謝申し上げます。

まだまだ残暑が厳しい日が続きそうです。夏休み明けには、体調をくずす子どもが多くなりがちです。『早寝早起き 朝ごはん』等、生活のリズムを整えることにつきましては、ご家庭でもご配慮ください。



本日の朝会では、次のような話をしました。

みなさん、「ウサギとカメ」の話は知っていますね。どちらが勝つかというと、足の速いウサギが勝つに決まっているのに、怠けたり休んだりしているうちに負けてしまうという話です。

では、そのウサギとカメがもう一度競走したら、どちらが勝つと思いますか？もう油断しないので、今度はウサギが勝つと思いますよね。でも、いや、もう一度勝負してもカメが勝つと言う人もいます。みなさんは、どうしてだと思いますか？その人は、こう言うんです。

「ウサギはカメばかり見ている。つまり競争する相手だけを見ている。それに比べてカメは、相手がウサギであろうと誰であろうとゴールだけを見ている。だから、脇目も振らず一直線にゴールをめざすことができ、結果的にカメがまた勝つ。」

みなさんは、どう思いますか？私は、なるほどなぁと思いました。

つまり、何かをするときに、周りの人を見て、あの人があれくらいしかやっていないのだから、自分もこれくらいでよいかと考えたり、本当はやらなければならないことだけど、やっていない人もいるから自分もやらなくていいやと考えたりするのは、本気ではないですからウサギのように負けるかもしれません。

自分がやりたいレベルはどれくらいか、目標はどれくらいかを取り組む前によく考えることが大切です。そして、それに向かってがんばろうとする子になってほしいです。

前期後半も、みなさんがさらに力を伸ばしていくことを期待しています。

新型コロナウイルス感染症は、全国各地で急速な感染拡大が見られ予断を許さない状況です。前期後半も、子どもたちの健康・安全の確保から、引き続き以下の内容にご協力をお願いいたします。

1 児童の健康管理等の対応について

(1) 家庭での毎朝の検温及び風邪症状の確認と学校との連携

○ 毎朝、家庭で検温と風邪症状の確認と、「朝の健康チェック表」の記入、担任への提出。

(2) マスクの着用、手洗いや咳エチケットの徹底

(3) 免疫力を高めるため十分な睡眠、適度な運動やバランスのとれた食事

(4) 感染者や感染の疑いのある本人や家族に対する偏見や差別につながるような行為への指導

2 集団感染のリスクへの対応について

(1) 換気の悪い密閉空間にしないための換気の徹底（教室等のこまめな換気）

(2) 多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮

(3) 近距離での会話や大声での発声をできるだけ控えること

